

大阪湾沿岸

海岸保全施設整備計画 6

| | | | |
|-------------------------|--|---|-----------------------|
| ゾ ー ン 名 | 大阪ゾーン | 工 リ ア 特 性 | 環境創造・活性化エリア |
| 海 岸 名 | 大阪港 | 区 域 | 大正区鶴町 |
| 海 岸 タ イ プ | 直立堤防 | 所 管 | 国土交通省（港湾局） |
| 設計高潮位（H.H.W.L） | T.P.+3.9m | 波 高 （ H o ） | 0.5～2.0m（港内波高） |
| 代 表 堤 防 高 | T.P.+4.40m～T.P.+5.90m | 現 況 の 堤 防 高 | T.P.+4.38m～T.P.+5.86m |
| 現 況 の 施 設 | 堤防 6,689m、陸閘 11 基 | | |
| 海 岸 の 整 備 方 針 | ・防護機能の確保・環境回復創造・魅力ある景観創出・海岸利用の促進 | | |
| 海 岸 の 目 標 | 海 岸 の 防 護 | <ul style="list-style-type: none"> ・液状化などの対策を検討し、耐震性などを含めさらなる防護機能の強化を推進する。 ・陸閘の電動閉開方式の採用や遠隔操作のできる施設整備を進めていく。 ・環境や利用面に配慮した面的防護方式の施設づくりを進める。 | |
| | 環 境 の 整 備 と 保 全 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連計画と連携し、都市・港湾機能にふさわしい美しさと潤いのある豊かな海岸景観を創出する。 | |
| | 公 衆 の 適 正 な 利 用 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能と港湾機能が調和した活力とにぎわいのある海岸づくりを進める。 ・海岸利用の多いところでは安全で快適なアクセス路の確保を推進する。 | |
| 整 備 の 必 要 性 | <ul style="list-style-type: none"> ・堤防などのさらなる耐震性の強化を図るとともに、陸閘の電動化や遠隔操作システムの導入が必要である。 | | |
| 整 備 計 画 の 概 要 | <p>堤防のさらなる耐震性の強化や陸閘の電動化、遠隔操作システム化を行う。 面的防護方式の採用により、アクセスの改善や緑化修景に配慮し親水性の確保を図る。</p> <p>(1) 整備海岸延長 : 6,901m</p> <p>(2) 整備内容 : 堤防（耐震補強）、陸閘（電動化、遠隔操作化） 階段、遊歩道</p> | | |
| 住 民 意 見 | <ul style="list-style-type: none"> ・防護に対する万全な対応 ・海辺へのアクセス性の向上 | | |
| 期 待 さ れ る 効 果 | <ul style="list-style-type: none"> ・堤防のさらなる耐震強化や陸閘の電動化、遠隔操作化により背後地の安全性の向上が図られる。 ・市街地との調和により、海岸景観の向上が図られる。 ・都市・港湾などと調和のとれた活力やにぎわいのある空間が創出され、地域振興が図られる。 ・安全で快適なアクセス路の確保により海への親しみが増す。 | | |
| 海 岸 管 理 に お け る 配 慮 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の適切な維持管理 ・ゴミなどの不法投棄、汚損などの防止対策の推進 ・プレジャーボートの放置、不法係留対策の推進 ・バリアフリー化の推進 ・海岸利用者のためのマナー向上のための啓発活動の推進 ・海岸美化運動の推進 | | |

【現況写真】



位置図



【平面図】

